

甘 楽中女子駅伝部 関東大会で躍動！

第31回関東中学校駅伝競走大会が12月4日に東京都八王子市の上柚木公園陸上競技場および周辺コースで開催され、県大会第3位の甘楽中学校女子駅伝部が出場しました。

1都7県を代表する33の強豪校が集まった大会で

選手たちは、練習の成果を発揮し第15位(5区間 13.621km・50分16秒)と健闘しました。

大舞台での貴重な経験は選手自身をさらに成長させ、2年連続で関東大会に出場し伝統を引き継いだ同部の今後の活躍が楽しみです。



左から 新井結乃さん(1年)、青木桜月さん(1年)、堀越柚葵さん(1年)、黒澤 碧さん(3年)、諏訪沙枝さん(3年)、田中怜奈さん(2年)、倉林万優さん(2年)、外所加帆さん(2年)

県小学生マラソン大会で優勝 小暮さん



2022第22回群馬県小学生駅伝競走大会兼小学生マラソン大会が11月26日に正田醤油スタジアム群馬で開催されました。男子小学1年500mタイムレースで、小暮颯基さん(新屋小・1年)が1分55秒45で見事優勝しました。

日頃からトライアスロン(水泳・自転車・長距離走を連続して行う競技)に挑戦している小暮さんは、長距離走の成果を確認したいとの思いから大会に出場しました。

小暮さんは「初めての陸上大会だったけれど、優勝することができて良かったです。陸上や水泳、メインのトライアスロンの大会で、また優勝できるよう頑張りたいです」と話してしてくれました。

県民スポーツ大会結果！

第60回群馬県民スポーツ大会秋季大会が11月6日と13日に県内各会場で行われ、甘楽郡は郡の部総合6位になり、郡を代表して参加した各団体の成績は下表のとおりです。



優勝した空手道の選手の方皆さん

【郡の部】得点競技 *順位は「順位/参加団体数」で表示

種目	バスケットボール男子	ソフトテニス	卓球	弓道	空手道	ボウリング
順位	3位/5	2位/6	5位/5	3位/6	1位/3	6位/7

【オープン競技】

ハンドボール男子	ハンドボール女子
2位/5	2位/4

人権ポスターコンテストで入賞

人権について理解を深めるための第19回「人権ポスターコンテスト」(富岡人権擁護委員協議会・前橋地方法務局富岡支局主催)が開かれ、甘楽郡・富岡市・上野村の小学5年生を対象に386点の応募がありました。

12月10日に富岡市生涯学習センターで入賞者の表彰式が行われ、作品も展示されました。町内の小学生の作品は、1月18日から29日まで町文化会館で展示されますので、ぜひご覧ください。町の入賞者は次のとおりです。



表彰式に出席した大河原さん

◇サファリ社長賞
吉田真子さん(新屋小)



◇甘楽町長賞
上原莉音さん(小幡小)



◇甘楽町教育長賞
大河原 結衣さん(新屋小)



県木エコンクールで入賞 相川さん



▶賞状も木材で作られています



▶内部にはベッドなどの家具が配置されています

第47回群馬県児童生徒木工工作コンクールにおいて、相川聖奈さん(福島小・3年)が関東森林管理局長賞を受賞しました。

これは、木材に親しみ創造する楽しみを感じ、木材を生かした造形や技術などの教育振興を目的に県と県木材青年協会が毎年開催しています。

相川さんは、夏休みに作品制作に取り組み、落ち葉なども使い「森のおうち」を完成させました。

普段から物を作ることが大好きな相川さんは「自分でアイデアを考え、中が見えるように窓を大きく作りそこに透明な下敷きを切って貼り付けたり、ドアや屋根が開いて中が見えるように工夫したりしました。自分の部屋に飾りたいです」と笑顔で受賞の喜びを話してくれました。

おいしくミカンを食べる 吉田さん

吉田藤太郎さん(白倉)が12月13日、かんら保育園にご夫婦で収穫したミカンを5ケース約1,000個届けました。

吉田さんは、150本のミカンの木をシカなどの被害に遭わないよう管理し、毎年園などにプレゼントしています。

園児は「手より大きいね」「ミカン大好き」「食べていいの」と大喜び。声をそろえてお礼を言う年長児や、小さな体がかがめて「ありがとう」とおじぎする園児の姿が見られました。

吉田さんは「風邪などひかないようにたくさん食べてもらいたい。今年も届けられて良かった」と話されました。



吉田さん(左)からミカンを受け取る園児

在宅介護の悩みや負担を軽減 家族介護者教室

在宅で介護をしている家族を対象に「人生の最終段階の医療・ケアについて」と題して家族介護者教室が地域包括支援センターで行われました。

10月27日は約30人が参加し、公立富岡総合病院の看護部長の津金澤 理恵子さんと特別養護老人ホームシルクの生活相談員の新井 千江美さんを講師に招き、「もしものとき」のために家族が望む医療やケアについて事前に話し合い、認識を共有する取組「アドバンスケアプランニング(人生会議)」と「施設の見取り介護」について理解を深めました。

施設での経験を交えて話すシルク 新井さん



医療従事者の視点で講演する富岡総津金澤さん

11月4日には「エンディングノート書き方セミナー」と懇談会が行われ、在宅介護の本音を家族同士で共有する機会となりました。

参加者からは「話がとてもわかりやすく、有意義な講座でした」「夫の介護が始まったのでこれからも教室を開催してもらいたい」などの声が聞かれました。

環境美化活動で町をきれいに 暮らしの会



甘楽町暮らしの会(櫻井光江会長・会員36人)は11月18日、町内のごみ拾いによる環境美化活動を行いました。

会員が地区ごとに分かれ清掃活動を行い、ペットボトルや空き缶、たばこの吸い殻など軽トラックの荷台いっぱいのごみを回収しました。

櫻井会長は「以前に比べ道端に捨てられているごみは少なくなってきましたが、ゼロではありません。今後も住みやすいきれいな町を目指して活動を続けていきます」と話されました。

蕎麦づくり入門の集大成 蕎麦打ち体験

秋畑那須地区のちいじがき蕎麦の里「蕎麦づくり入門」の締めくりとなる蕎麦打ち体験が12月10日・11日、甘楽ふるさと館もみじの間で行われました。

約100人の蕎麦オーナーが参加し種から育てた粉を使い名人指導の下、参加者自ら蕎麦を打ちました。打った蕎麦はコロナ感染症対策の観点から、試食は行わずに持ち帰りました。

体験後には、同館内の「せせらぎの湯」で汗を流し、疲れを癒した人の姿もありました。

